投稿規定

（1990.12.11 実施/ 2004.2.1 改/2006.6 改/2006.11 改/2007.5 改/2007.8 改/2009.2 改/2020.7 改/2022.10 改/2023.10.8 改/2024.6 改/2025.12 改）

1 投稿者

投稿者の少なくとも一人が投稿時に当協会の会員であることが必要である（投稿時入会でも可）。

2 原稿の種類と内容

原稿の種類は研究論文、研究報告、技術・開発・活用報告で、査読付き論文とする。

2.1 研究論文

リハビリテーション工学に関連する分野で、学術上および技術上の価値がある新しい成果を記述した原著論文。また、リハビリテーション工学に関連する研究成果につき科学的分析手法を用いて評価総説した原著論文。

2.2 研究報告

リハビリテーション工学に関連する分野で、新規性があり、学術上および技術上早期に発表する価値がある報告、支援技術に関する有用な成果を記述した報告であり、原著論文とする。

2.3 技術・開発・活用報告

（1） リハビリテーション工学に関連する機器開発や計測手法等についての技術的な報告。

（2） 障害当事者のリハビリテーション工学に関連する機器の活用や実践例の報告等。

3 著作権

会員の権利保護のため、著作権のうち複製権および公衆送信権は本協会に属するものとする。ただし、著作者が自ら複製または公衆送信を行う場合には、出版日から 90 日後において、本誌に掲載している旨を明記の上自由に行うことは差し支えない。

4 投稿原稿の審査・採否

4.1 論文の審査

投稿された原稿は種類によらず原則2名の査読者（ピアレビュアー）が行う。

査読はダブルブラインド（投稿者・査読者双方は互いの所属・氏名等が未知）で行う。そのため、個人が特定されるような情報を査読の段階では記入しないこと。例えば、研究倫理審査委員会の名称・利益相反の企業名・過去の自分の研究論文の引用などに注意すること。これらの情報は査読が終り、掲載が決定した後の印刷原稿を提出する際に、具体的な情報に差し替えてもらう。

4.2 論文の採否

投稿原稿は、他誌に既発表でないことを要件とする。ただし、本協会・支部が主催するカンファレンス・研究会等（リハ工学カンファレンス、福祉機器コンテスト、支部の研究会など）および他学会における口述・ポスター発表などで既発表のものについて、内容を発展させた投稿は可とするが、当該既発表と全く同一内容の投稿は受理しない。

投稿原稿の採否は投稿規定に基づき編集委員会査読論文小委員会にて決定する。また、原稿の種類の変更をする場合がある。

5 研究倫理（該当する場合のみ）

ヒトを対象とした研究においては、ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、説明と同意の手続きを本文中に記すこと。また研究倫理委員会で承認を受けた場合、所属先を伏せてその旨を明記すること。例）「00 大学研究倫理委員会の承認を受けた」 等とし、所属先は論文採択後に記入すること。

6 利益相反

利益相反事項がある場合、具体的な企業名等は記載せず、その旨を本文中に記載すること。例）「実験資材は 00 社より提供を受けた。」等とし、具体的な企業名等は論文採択後に記入すること。

7 原稿の構成

7.1 書式

当協会の定めるテンプレートに準じる。本文は BIZ UDP 明朝体、見出しおよび図表・動画タイトルは BIZ UDP ゴシックを推奨する。英文は Times New Roman など、なるべく一般的に使用されているフォントを使用する。図表は約 300 字程度に換算する。

7.2 表紙（1 ページ目）

原稿の種類、表題名（和文・英文）、キーワード（見出し語）、筆頭著者・共著者すべての氏名、所属、会員番号、筆頭著者の連絡先（住所、電話番号、E-mail アドレス（掲載記事への記載は任意））を明記した表紙をつける。

7.3 本文（2 ページ以降）

（1） 指定の書式テンプレートに則った版下原稿とする。当該書式テンプレートは日本リハビリテーション工学協会のホームページよりダウンロードして使用すること。

（2） 要旨は和文（概ね 300 字以内）を本文最初のページ、英文（概ね 200 語以内）を本文最後のページに記す。キーワード（見出し語）は要旨の下の位置に和文、英文それぞれ 3 語～5 語記載する。

（3） 文章はできるだけ常用漢字、新仮名づかいを用い、慣用の学術用語を用いる。リハビリテーション工学は学際的領域であり、学術的成果・技術・開発を多様な読者に理解し、活用してもらえるよう表現に配慮する。本文の「章」に相当する大きい見出しは順次 1,2・・・のように、「節」の部分に相当する見出しはそれぞれ 1.1,1.2・・・のように、「項」の部分に相当する見出しは 1.1.1,1.1.2・・・のようにする。なお、見出しは行頭から書き出し、本文は行を変えて、一マス空けて書き出すよ

うにする。さらに小さい見出しが必要な場合は順に(1),1)のようにする。本文から投稿者・投稿者の所属先等を推察されないよう配慮する。

7.4 図表

画像データは、できるかぎりJPEG形式とする。冊子版ではグレースケール掲載となる。電子公開版でのカラー掲載を希望する場合はカラーで提出の上、「電子公開版カラー掲載希望」と明記する。

7.5 動画

投稿論文の説明表現として動画を使用することができる(電子公開版のみ)。動画は Web での閲覧に耐えうるものとする。1論文の動画ファイルサイズは1ファイル 50MB 以下、動画の長さは1論文につき合計 3分以内とし, ファイル数の上限は定めない。ファイル形式は、Windows Media Player または Quick Time Player で再生可能な形式(動画は mp4、mpeg、mpg、mov、avi、音声は mp2、mp3、wav)で作成する。J-STAGE の画面上で動画再生ができるのは、mp4 形式のみ(他形式の場合はダウンロードして閲覧)となるので、mp4 形式を推奨する。

図表、動画とも、タイトル・ナンバー・説明文を必ず記載し、タイトルフォントは BIZ UDP ゴシック 10 ポイントとする。挿入箇所は本文中に図表番号を記して明記する。

図表・動画添付にあたり、著作権および肖像権等の権利侵害に留意し、必要に応じ個人情報に配慮した画像処理をする。

7.6 参考文献

参考文献は、本文中の該当場所の右肩に下記の形で文献番号を記入し、本文の後に文献リストをつける。

(例:..・鈴木ら 1)によると、・・)

文献の書き方は、次のようにする。

(1)雑誌の場合【以下、例 1), 2)】

著者名:表題名, 雑誌名, 巻(号), 最初―最後の頁, 発行年

(2)単行本で単独(共同)執筆の場合【3), 4)】著者名書名, 版数最初―最後の頁, 出版社, 発行年

(3)単行本で分担執筆の場合【5)】

著者名:章名, 編集者名(編), 書名, 版数, 最初ー最後の頁, 出版社, 発行年

(4)Web ページの場合【6)】URL(年/月/日確認)

なお、DOI が付与された文献の場合は文献記載の後に DOI を記載することが望ましい。

1) 利葉工人:障害者の移動機器・システム, リハビリテーション・エンジニアリング, 8(10), 71-75, 1990, DOI:10.24691/resja.10.2_71

1) Rehatech A. B.: Human Knee Prosthetics, Bio-Prosth., 1(1), 100-110, 1989

2) X. リハコウスキ(工学太郎訳):福祉ロボットと人工知能, 1 版, 123-125,福祉工業新聞社, 1999

3)Icart H. B.: The Super Wheelchair, 1st, 77-88, RESNA, 1992

4) 自立志郎, 自立花子, 他:ヒューマン・コミュニケーション, 愛賀大一, 他(編), 日常生活活動―評価と訓練の実際―, 5 版, 104-123, QOL 出版, 1985

5) リハビリテーション・エンジニアリング誌投稿規定 https://www.resja.or.jp/journal/kitei.html (2025 年 12 月 7 日改定)

他者の著作権に帰属する資料および図表・動画を引用するときは著者が複製権および公衆送信権の利用許可申請手続きを行う。

文献のうち、投稿時に審査中のもの、掲載が決定していないものは参考文献に挙げない。

7.7 原稿枚数

刷り上がりの1ページは、文字のみの場合、23字(全角)、42行の2段組みとする。これは400字原稿用紙では約 5 枚に相当する。図表・動画を含む場合は、適宜、換算すること。原稿は下記の枚数を超えないように配慮する。

(1) 研究論文 刷り上がり 8 頁
(2) 研究報告 刷り上がり 6 頁
(3) 技術・開発・活用報告 刷り上がり 4 頁

8 原稿の提出

当協会 HP 上の投稿書式を用い、執筆原稿は、「投稿論文表紙」と「投稿論文チェックリスト」を添えて、編集事務局宛に電子メール添付で送付する。なお、「倫理チェックリスト」の提出は任意とする。

投稿の締め切りは年 4 回とし、1 月、4 月、7 月、10 月の各月末日とする。

(送付先 E-mail: journal@resja.or.jp)

データは、使用ソフトで作成した原稿および図表を送付する。動画を原稿に含める場合はメール添付せずファイル形式・容量を記して連絡すること。ファイル名に著者名を付け、メール件名に「リハエ協会誌原稿」としてメールで送付する。

9 掲載料

原稿掲載料は掲載号発刊時に筆頭著者が会員である場合、刷り上がり 1 頁あたり 3,000 円、それ以外は 5,000 円を徴収する。論文の別刷印刷を希望する場合は、著者が実費負担にて申し込むことができる。

災害、感染症の影響により、掲載年度における掲載料の納入に支障がある場合は、編集委員会事務局に連絡する。

10 電子公開

本誌に掲載する投稿論文は、障害者等への情報保障のために、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)にてオープンアクセスで電子公開する。著者の申し出による機関リポジトリへの掲載(公開)を一定の条 件の下で可能とする。また、協会誌は本協会より委託を 受けた機関によって電子公開(電子出版)することもある。

11 異議申し立て

原稿に関して異議がある場合は、編集委員長宛に申し立てることができる。

(送付先 E-mail: journal@resja.or.jp)